

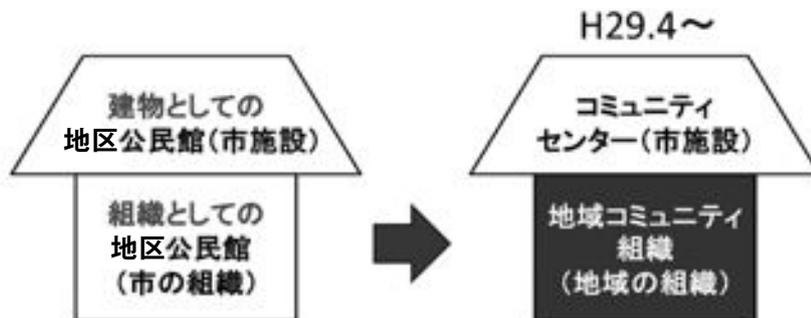
地区住民と市が協働!! 新しい地域コミュニティが始まります

地区公民館をコミュニティセンターに移行します ～社会教育施設から地域自治の拠点へ～

市では、人口減少によるコミュニティの崩壊に対応するために、地区住民によって地域づくりを進める体制づくりを目指しています。地区公民館の範囲で地区住民による地域づくり組織を立ち上げ、地域課題の解決や地域の振興に取り組むものです。

施設としての地区公民館、組織としての地区公民館はそれぞれ次のように移っていきます。

- 地区公民館という建物はコミュニティセンターという名称になり、社会教育法にとらわれない地域自治の活動拠点とします。
- 地区公民館組織は廃止し、地区住民で構成する地域コミュニティ組織へ移行します。これまで地区公民館で実施していた事業は、基本的に引き継がれていきます。
- 地域コミュニティ組織の活動拠点をコミュニティセンターに置きます。



コミュニティ組織と市は連携・協働します ～地域と市はパートナーとして地域づくりを進めます～

各地区には固有の歴史があり、特性も違います。そのため、地域づくりで目指す姿や解決すべき課題には違いがあって当然です。災害への対応が最重要課題の地区もあれば、日々の住民の生活を守る活動を優先したい地区もあります。地区公民館で行ってきた人づくり分野の活動とともに、地区として必要な活動を展開することになります。

地域コミュニティ組織は、自立組織です。市では、各地区の自主的な取組みを尊重し、その実現に連携・協力していきます。具体的には、活動のための財政支援、担当職員の助言や各部署との調整などを行い、協働して地域運営や地域づくりを進めていきます。



豊岡市では、人口が減少し、地域の活力が低下しつつあります。地域によっては、そのスピードが加速しています。つまりコミュニティが崩壊する危機に市は直面しています。

「自分の地区は大丈夫」と考える人もありますが、豊岡市の人口は今後も減少すると予測されており、将来にわたって大丈夫な地区はないと考えます。人

口が減少しても、自分の住む地域、そして豊岡市全体を守っていくためにはどうすればよいのでしょうか？ その取組みとして、地域と市がパートナーとして新しい地域づくりを進めています。

※豊岡市人口推移予測〔豊岡市地方創生総合戦略資料から〕
85,592人(2010年)⇒57,608人(2040年)

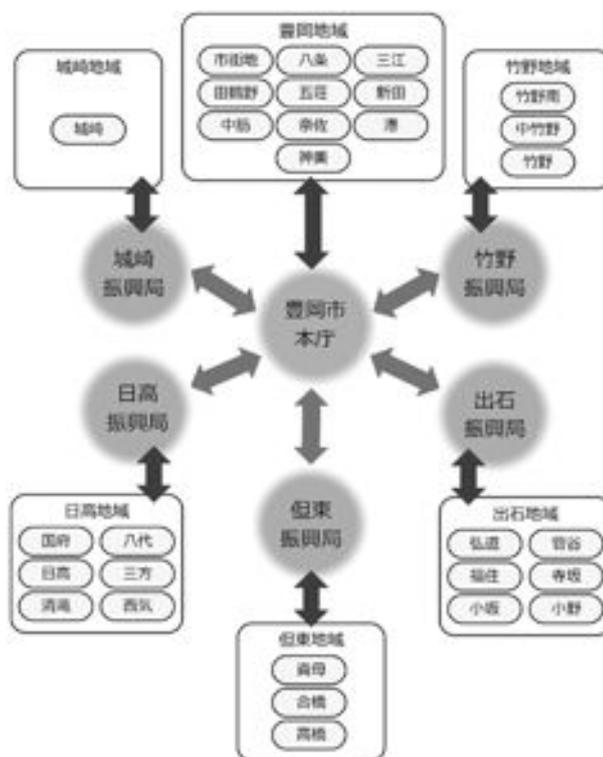
《問合せ》コミュニティ政策課 ☎21-9020

コミュニティセンターの所管は地域ごとになります ～豊岡地域は本庁、振興局管内は該当の振興局～

現在の地区公民館は本庁(中央公民館)が全てを所管していますが、平成29年度から、コミュニティセンターは振興局ごとに所管することになります。

本庁はコミュニティ政策課が、振興局は地域振興課がそれぞれの地域内にあるコミュニティセンターを管理し、地域コミュニティ組織との連携・協働を行っていきます。

コミュニティ政策課は、豊岡地域を担当するとともに、市全体の地域コミュニティづくりの総合窓口としての機能を持ちます。



自分たちの地域は自分たちで守る ～特別なことではなく、できることから行動を～

地域コミュニティというと、難しく聞こえるかもしれません。

しかし、その地域に住む一人一人が、地域のことを思い、まずは自分が活躍できる場で自分ができていることをやるといえば、できそうに思えるものです。

自分の健康づくりに取り組み、元気であることもその一つです。また、積極的にあいさつすることで、地域の中でのつながりも深まります。人と人がつながることで、地域の一員として自覚が生まれ、具体的な行動に結び付きやすくなります。考えればできることはたくさんあります。

地域コミュニティ組織は形だけ整っても、地域を理解し、しっかりと地域を運営していくようにならなければ成果につながりません。一部の役員や組織の事務局に頼り、後はお任せではなく、地区住民全員でこのコミュニティ組織を支えていくことが必要です。

「自分たちの地域は自分たちで守る」をスローガンに、ぜひ、地域の力を結集しましょう。市も連携・協働するパートナーとして、共に地域づくりを進めていきます。